

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年11月25日

【評価実施概要】

事業所番号	770403566
法人名	MCP有限会社
事業所名	グループホームつどい「柳内家」
所在地	福島県いわき市鹿島町御代字柿境25-1 (電話)0246-76-0730

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	福島県いわき市錦町竹の花 20
訪問調査日	平成19年 11月 1日

【情報提供票より】(19年10月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	17年	12月	1日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17	人
職員数	15人			

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建て	1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)		円
敷金	有() 円		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無		有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	1日1500円			

(4) 利用者の概要(10月21日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	1名	要介護2		3名	
要介護3	7名	要介護4		6名	
要介護5	0名	要支援2		0名	
年齢	平均 82.6 歳	最低	75 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	社団医療人 呉羽会 クレハ総合病院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

一年中温暖な気候に恵まれ近所に商店街と暮らしやすい環境の中、心穏やかにつどいのある生活、まさに心に寄り添ったケアは、ISO9001認証取得と「柳内家」事業所理念にもとずいて、一人ひとりの声を大切に取り組む姿勢はまるで太平洋の広さに似ていた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価結果を全職員で検討し具体的に実践することでサービスの質の向上に努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を全職員で取り組むことで、ケアの見直し、意識付けの再確認の場を設けている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>今年第一回の運営推進会議を開いたことで、公的立場の意見や支援を受け、地域サポート体制の基盤となる指針が方向づけられつつある。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の面会時に要望の声かけや、定期的家族アンケートの試みによる実情把握に努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>現在までの地域活動参加の実績により、地区こども避難所見守り隊の登録を可能にし、積極的に地域住民の役割を得ている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所目標「つどい10の約束」理念の他に職員一人ひとりの声を反映した独自の理念を作り上げていた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	6ヶ月ごとに利用者様と職員の意見を基に理念を作り上げ職員通路部屋に掲示することで共有を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の学校行事や地区のお祭りなどに積極的に参加することで教育委員会からの要請がありことも避難所の登録をし、地域の中で大きな役割を持っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行うことでサービス評価の意義や目的を理解し、評価結果からより良いサービスの質の向上に努めている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年8月に第一回の会議を実施し、次回3ヶ月に一度の割合で実施できるよう取り組んでいる。会議であがったそれぞれの立場の意見を反映できるよう日々向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月一度、つどい新聞で利用者様の暮らしぶりをお知らせすると同時に金銭の収支報告書も同封している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族アンケートにて意見、要望を集め、サービスに反映させている。また、玄関にご意見箱を設置し、より言いやすい雰囲気づくりに心がけている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様へのダメージを最小限にとどめるよう職員間のチームワークづくりを日頃から心得ており、同スタッフによる顔馴染みの介護体制が整っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ISO人材育成規定により、段階に応じた育成計画を作成し、職員・パートを問わずスキルアップに努めている。また、研修要望にも可能な限り、機会を作っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加盟しお互いのホームを訪問したり、情報交流を密にとり合っている。また、協議会によるスタッフ研修によって質の向上にも努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>何気ない会話の中でお互いを思いやる姿勢が家族的情愛を作り上げており、ご利用者様にとって、職員は生活のパートナーとして受けられていた。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>理念に掲げたように利用者様の意向・要望を把握しよりよいパートナー関係づくりを心がけている。また、意志疎通が困難な方には、家族より情報を得て本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者様や家族の要望を積極的に取り入れ、全職員間で意見交換やカンファレンスを行い利用者様本位の介護計画作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月一回または随時のフロアカンファレンスを実施することで状況把握し3ヶ月に一度の介護計画の見直しを行っている。</p>		<p>介護計画の見直し時期に家族会への促しや面会時に今後の要望を聴取し、カンファレンス参加へも充実してほしい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医への支援をしている。受診時は事業者もしくは必要に応じて家族動向を依頼している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期に対する対応指針を契約時書面にて説明し同意を得ている。		人生のラストステージとなる大切な時期をすみやかに支援できるためにも日頃から家族及び医療側の意見を聴取し、早期の段階で終末期意志確認書の作成をすることで家族の気持ちの動向変化をいち早くとらえ職員は共有できるよう努めている。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入社時に個人情報保護徹底のために同意書を取り日頃よりプライバシー保護が図られている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その時の体調や気持ちを尊重、配慮した個別性のある支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	調理から片付けに至るまで利用者様の意志を大切にサポートしていた。また、定期的に希望する自由食を取り入れ食に対する楽しみを共有していた。		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	曜日や時間にとらわれず個人の意志を尊重した時間帯に支援していた。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	個人の力量に合わせた役割を發揮できるよう支援していた。今後は園芸療法を取り入れ楽しみ事や気晴らしへの支援も考慮し準備している。		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	季節を通して五感を感じられるよう日常的に散歩、ドライブなどの機会を設けている。この外出支援は、事業所目標にも掲げて実施している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	個別的行動パターンを職員間で把握し共有することで日中鍵をかけずチャイムセンサーに頼らない自由で安全な暮らしぶりを支援している。また、外出された場合はさりげなく着くなどして見守りを徹底している。		
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年二回消防署指導の元で避難訓練を実施するとともに運営推進会議では地域の協力体制を呼びかけている。また、夜勤帯設定の訓練も実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士によるバランスの取れた献立になっており、摂取量はバイタルチェック表に記録し職員は共有している。</p>		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>五感や季節感を取り入れた心地よい手作りの装飾品が暖かくフロアーを演出していた。職員自筆の利用者様の似顔絵はその人らしさがでていて微笑ましく感じられた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個人の馴染みの品々や好みの物などが整理整頓された居室に設置されていた。中には位牌を持ち込むなど個人を尊重した居室空間になっていた。</p>		

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホームつどい柳内家

記入担当者名 坂本修司

評価結果に対する事業所の意見

ありません。

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。